



中高生フォトグラファー応援マガジン

No.323

# TopEye

1. 2025年度TopEye最新NEWS
2. フォトコンテスト入賞のコツ!?
3. 2024年度  
年度賞表彰式レポート
4. 応募前のcheck list
5. 第73回ニッコールフォトコンテスト応募受付中

# 2025年度TopEye 最新NEWS

今年度もTopEyeが全国の写真部を応援！いろいろな取り組みで皆さんの写真活動をサポートしますので、お楽しみに！

## 1 TopEye<sup>2025年度</sup>フォトコンテスト募集開始！

昨年度もたくさんの応募があったTopEyeフォトコンテスト。2025年度も皆さんの参加をお待ちしております！



今年度も  
熊切先生と秋山先生が  
一枚一枚しっかり審査！

たくさんチャレンジして  
年度賞を狙おう！

4回のフォトコンテストを通して学校単位で入賞ポイントを集計し、年度賞3校を決定。全4回に出品してくれた学校には、皆勤賞としてオリジナルグッズをプレゼント！

フォトコンテストは年4回

- 第1回 2025年5月9日(金)  
第2回 2025年9月5日(金)  
第3回 2025年11月10日(月)  
第4回 2026年1月9日(金)

入賞作品には賞に応じて  
ポイントを付与

100 ポイント	70 ポイント	40 ポイント
20ポイント	10ポイント	10ポイント

2024年度の入賞作品はハイレベル！  
キミも自分の力作を評価してもらおう

TopEye  
組写真部門

「どこにいる」野田 吹乃 東京都立総合芸術高等学校2年



たくさんの応募  
お待ちしております！

第1回の応募締め切りは  
**5月9日(金)**まで！

## 2 全国高校生写真サミット復活！

熱意を持ってカメラを楽しむ高校生が全国から集う、写真を通じた学びと交流を目的としたイベントが6年ぶりに帰ってきます！  
プロの写真家による作品指導や特別講演、生徒同士の交流の場など、多彩なプログラムを実施予定。



どんな写真か  
集まって  
いるのかな



## 3 入賞作品を東京・大阪で展示！

TopEyeフォトコンテストの入賞作品が勢揃いする展示会をニコンプラザ東京・大阪のTHE GALLERYで開催します。  
ライバルの力作を見て学びを得るチャンス。会期は2026年春頃を予定。続報を待とう！



展示会の風景は  
こんな感じ

2025年度TopEyeフォトコンテスト  
入賞作品展

コンテスト入賞をはたして、  
大きくプリントした自分の作品を  
たくさんの人見てもらおう！

4

## 大好評につき台数を増やしました! 機材貸し出しサービスで Nikonのカメラを使ってみよう!

Nikonの機材貸し出しサービスが今年度も受け付けをスタート。ミラーレスカメラで部活動にアツく取り組もう!

和歌山信愛中学校高等学校



宮崎日本大学高等学校



湘南学院高等学校



関市立関商工高等学校



普段はミラーレスではないカメラを使っているので、軽く感じました。また画質がとてもよく、暗所でもきれいに撮影することができたのがよかったです。ミラーレスカメラが欲しくなりました!(生徒)

本校の生徒は一眼レフをメインで使っているので、ミラーレスは使い方が簡単だと喜んでいました。(顧問)  
一眼レフに比べて、次々と素早くシャッターを切ることができて気持ちのよい撮影ができました。(生徒)

カメラを揃えられていない生徒も多いので、カメラの貸し出しはあるかたかったです。また、高校3年生の生徒が大学でアルバイトをして絶対にNikonのカメラを買うと言っていました。いいカメラを触ると写真がもっと好きになると思いました。(生徒)

取り回しが軽くて、写りが非常に素晴らしいです。シャッター音も静かなので、気を遣うことなくさまざまなシーンで撮影ができるなと思いました。(生徒)

昨年初めてカメラを借りし、非常に助かりました。お借りしたカメラを使って何名もの生徒が県展や県高文連コンテストに入賞することができました!(顧問)

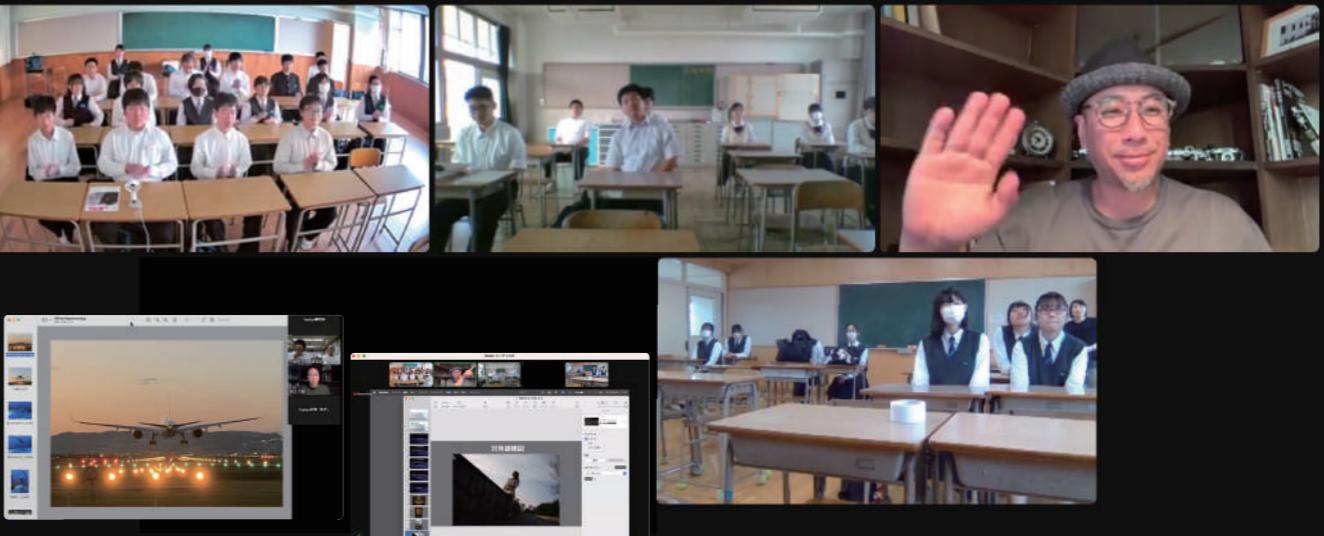
上半期は応募多数のため、受付を終了しました。  
下半期の応募開始まで、しばらくお待ちください。



貸し出し期間  
上半期：5月上旬～8月25日(月)  
下半期：9月上旬～2026年1月15日(木)

Recording

パソコンの画面共有機能を使って実施。生徒による作品説明のあと、先生が編集ソフトで改善点をアドバイスします。合間で質問タイムを設けるなど、生徒の皆さんとコミュニケーションを取りながら和やかなムードで進行していきます。



5

## 全国どこからでも参加可能! オンライン講評会&セミナー 「部活におじゃまします」

昨年度から新たな取り組みとして始まったオンライン講評会に、セミナーが加わりパワーアップ!  
いつもの教室にいながら、プロの先生方の指導を受けることができます。

今年度からセミナーも併せて実施。見学参加も大歓迎!

※講評会に提出した作品は、TopEyeフォトコンテストおよびニッコールフォトコンテストにはご応募いただけません。

「シャッターを切るまでに  
考えるべきコト」

「写真を読む楽しみ」

「被写体の見つけ方」

「プリントのいろは」

「スナップ写真で  
大事なコト」

「組写真の考え方」

などなど、  
気になるテーマを  
多数用意



TopEye  
フォトコンテスト審査員の  
熊切先生と  
秋山先生が講師!

5月14日(水)からスタート!

TopEyeフォトコンテスト

審査員に聞いた

# フォトコンテスト 入賞のコツ!?

「ピュアな表情を写した作品を見ると  
今の自分に撮れるのか?と考えさせられます」

「独自の視点や感性がある写真には、  
一瞬で引き込まれますね」

年間を通してたくさんの作品が集まるTopEyeフォトコンテスト。  
その審査員である熊切大輔先生と秋山華子先生に、  
作品を審査する際に注意して見ているポイントや、  
審査基準にまつわる素朴な疑問をインタビューしました。  
これを読めば、キミの作品が入賞に一步近づくかも!?

## INTERVIEW

... DAISUKE KUMAKIRI

基礎技術をしつかり作品にのせる」とが  
受賞への一歩になるはずです。

by 熊切 大輔先生

— TopEyeフォトコンテストにおける審査基準にはどんなものがありますか?  
「意図的な表現以外で、ピントをはずさない、  
手ブレを起こさないなど、基礎技術がしっかりした作品が受賞への最初のステップをクリアできると思います」  
— そのほか、先生が応募作品に求めるものや、審査する際に注意して見ているポイントはありますか?  
「変に審査員ウケを狙わず、高校生・中学生にとって自分たちらしく撮れる被写体やテーマを選んでいるかどうか。そしてそれをしっかりと撮影できていることが重要です」  
— たくさんさんの作品が並ぶ審査中に、「オッ」と目を引くのはどんな作品ですか?  
「プロの写真家が発想しないようなアングルやテクニックを使った作品は、目を引くように思います」

— 画面や撮影者による作品コメントが審査に影響することはありますか?  
「コメントはあくまで補助的な役割になると思います。ですが、タイトルで「なるほど」と言わせられるケースはこれまでの審査の中でも多くありますね」

— 正直な話、賞をとりやすい傾向のジャンルはあるのでしょうか?  
「ズバリ、ありません!」

— これまでの審査の中では、「ここがよければ賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「組写真部門に言えることですが、1枚余計なhardtが入ってしまっている作品が多いように感じます。逆に、単写真で組んだらおもしろいそうなのに……。という作品もありますね」

— これまでの応募作品の中で、「これはおもしろい」と印象に残った被写体を教

えてください。

「同世代の友人など、ピュアな表情を写したものには残ります。はたして今の自分が撮れるのか?と考えさせられますね」

— 写真が上手な生徒の特徴や共通点はなんだと思います?  
「人それぞれですので、一概には言えませんが、撮影からプリントまで基礎技術がしっかりと備わっていることは共通点と言えますでしょう」

— 先生が個人的に「いい写真だな」と思ふのはどんな作品ですか?  
「さまざまありますが、表情や動き、光などなど含めて、瞬間を上手く捉えた写真是心惹かれます」

— ズバリ、TopEyeフォトコンテストにおいて入賞するためのコツとは?  
「コツはありません。大事なのは応募を続けることです。また、他の人の入賞作品を研究して、なぜ受賞したのかを考えるのもヒントになるかもしれません。他の入賞作品だけではなく、プロの作品も含めてたくさん写真作品、写真表現を見ることが勉強になります。一方で、美術や映画などまったく別のメディアから思わぬ刺激を受けることもあります。興味の幅、アンテナを広げることも重要なことです」

— これまでの審査の中でも、「ここがよければ賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「組写真部門に言えることですが、1枚余計なhardtが入ってしまっている作品が多いように感じます。逆に、単写真で組んだらおもしろいそうなのに……。という作品もありますね」

— 正直な話、賞をとりやすい傾向のジャンルはあるのでしょうか?  
「ありません。しかし、被写体として選んでいる人の割合が少ないジャンルの作品は目を引きますので、自分なりに被写体を探し出すことが大切だと思います」

— TopEyeフォトコンテストにおける審査基準にはどんなものがありますか?  
「応募作品の被写体や表現の多様性があります。広がっているので、単写真・組写真いずれも何をどう撮り、どういう印象的な作品に仕上げるのかを考えることが大切だと思います。単写真においては、被写体と真正面から向き合い、完成まで熱量を持って導いた作品である。組写真では単写真での判断基準に加え、テーマ性やストーリー性が一貫しているかどうかを評価ポイントにしています」

— そのほか、先生が応募作品に求めるものや、審査する際に注意して見ているボイントはありますか?  
「コツはありません。大事なのは応募を続けることです。また、他の人の入賞作品を研究して、なぜ受賞したのかを考えるのもヒントになるかもしれません。他の入賞作品だけではなく、プロの作品も含めてたくさん写真作品、写真表現を見ることが勉強になります。一方で、美術や映画などまったく別のメディアから思わぬ刺激を受けることもあります。興味の幅、アンテナを広げることも重要なことです」

— これまでの審査の中でも、「ここがよければ賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「組写真部門に言えることですが、1枚余計なhardtが入てしまっている作品が多いように感じます。逆に、単写真で組んだらおもしろいそうなのに……。という作品もありますね」

— 正直な話、賞をとりやすい傾向のジャンルはあるのでしょうか?  
「ありません。しかし、被写体として選んでいる人の割合が少ないジャンルの作品は目を引きますので、自分なりに被写体を探し出すことが大切だと思います」

— ズバリ、TopEyeフォトコンテストにおいて入賞するためのコツとは?  
「写真を見たときに、そこに写る被写体と撮った人に想いを馳せる」ことができる作品だと考えます」

— 先生が個人的に「いい写真だな」と思ふのはどんな作品ですか?  
「作品へのアドバイスを自分なりに咀嚼して、作品制作に繋げるための試行錯誤を行っている」と言います

— 写真が上手な生徒の特徴や共通点はなんだと思います?  
「写真を見たときに、そこに写る被写体と撮った人に想いを馳せる」ことができる作品だと考えます」

— これまでの審査の中でも、「ここがよければ賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「組写真部門に言えることですが、1枚余計なhardtが入てしまっている作品が多いように感じます。逆に、単写真で組んだらおもしろいそうなのに……。という作品もありますね」

— 正直な話、賞をとりやすい傾向のジャンルはあるのでしょうか?  
「ありません。しかし、被写体として選んでいる人の割合が少ないジャンルの作品は目を引きますので、自分なりに被写体を探し出すことが大切だと思います」

— ズバリ、TopEyeフォトコンテストにおいて入賞するためのコツとは?  
「一度の応募で諦めず、自分なりに改善点を見つけ出しながら、継続してテーマに向かって制作することが大切です」

— これまでの審査の中でも、「ここがよければ賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「組写真部門に言えることですが、1枚余計なhardtが入てしまっている作品が多いように感じます。逆に、単写真で組んだらおもしろいそうなのに……。という作品もありますね」

— 正直な話、賞をとりやすい傾向のジャンルはあるのでしょうか?  
「ありません。しかし、被写体として選んでいる人の割合が少ないジャンルの作品は目を引きますので、自分なりに被写体を探し出すことが大切だと思います」

— ズバリ、TopEyeフォトコンテストにおいて入賞するためのコツとは?  
「写真を見たときに、そこに写る被写体と撮った人に想いを馳せる」ことができる作品だと考えます」

— 先生が個人的に「いい写真だな」と思ふのはどんな作品ですか?  
「作品へのアドバイスを自分なりに咀嚼して、作品制作に繋げるための試行錯誤を行っている」と言います

— 写真が上手な生徒の特徴や共通点はなんだと思います?  
「写真を見たときに、そこに写る被写体と撮った人に想いを馳せる」ことができる作品だと考えます」

— これまでの審査の中でも、「ここがよければ賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「組写真部門に言えることですが、1枚余計なhardtが入てしまっている作品が多いように感じます。逆に、単写真で組んだらおもしろいそうなのに……。という作品もありますね」

— 正直な話、賞をとりやすい傾向のジャンルはあるのでしょうか?  
「ありません。しかし、被写体として選んでいる人の割合が少ないジャンルの作品は目を引きますので、自分なりに被写体を探し出すことが大切だと思います」

— ズバリ、TopEyeフォトコンテストにおいて入賞するためのコツとは?  
「一度の応募で諦めず、自分なりに改善点を見つけ出しながら、継続してテーマに向かって制作することが大切です」

PROFILE  
熊切大輔／東京工芸大学短期大学部写真技術科を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経てフリーランスの写真家として独立。ドキュメンタリー・ポートレート・食・舞台など「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影する。公益社団法人日本写真家協会会長。ニッコールクラブアドバイザー・ニコンカレッジ講師。

HANAKO AKIYAMA

秋山華子／大阪芸術大学写真学科卒業後、同研究室勤務。写真家・織田峰子氏に師事。その後、フリーランスのフォトグラファーとして活動。ライフワークとして「普遍」をテーマにスナップ撮影を行っている。大阪芸術大学写真学科非常勤講師。ニッコールクラブアドバイザー・ニコンカレッジ講師。

自分なりに改善点を見つけ出しながら、継続してテーマに向き合うことが大切です。

by 秋山華子先生

— これまでの審査の中で、「ここがよければ入賞したのに」「こうすればもっといい賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「プリントのクオリティが低いことで、作品の持つよさを損なってしまっていると感じことがあります。撮影から仕上げまで丁寧に取り組んだ作品には、「見応えがありますが、撮影からプリントまで基礎技術がしっかりと備わっている」とは共通点と言えます」

— これまでの応募作品の中で、「これはおもしろい!」と印象に残った被写体を教えてください。

「2023年にTopEye賞を受賞された堀陽月さんの「生命」という作品は、今まで広がっていますが、被写体と丁寧に向き合って撮影された作品からは鳥の命が感じ取れます」

— これまでの応募作品の中で、「これはおもしろい!」と印象に残った被写体を教えてください。

「これまでの審査の中で、「ここがよければ入賞したのに」「こうすればもっといい賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「プリントのクオリティが低いことで、作品の持つよさを損なってしまっていると感じことがあります。撮影から仕上げまで丁寧に取り組んだ作品には、「見応えがありますが、撮影からプリントまで基礎技術がしっかりと備わっている」とは共通点と言えます」

— これまでの応募作品の中で、「これはおもしろい!」と印象に残った被写体を教えてください。

「これまでの審査の中で、「ここがよければ入賞したのに」「こうすればもっといい賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「プリントのクオリティが低いことで、作品の持つよさを損なてしまっていると感じことがあります。撮影から仕上げまで丁寧に取り組んだ作品には、「見応えがありますが、撮影からプリントまで基礎技術がしっかりと備わっている」とは共通点と言えます」

— これまでの応募作品の中で、「これはおもしろい!」と印象に残った被写体を教えてください。

— これまでの審査の中で、「ここがよければ入賞したのに」「こうすればもっといい賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「プリントのクオリティが低いことで、作品の持つよさを損なてしまっていると感じことがあります。撮影から仕上げまで丁寧に取り組んだ作品には、「見応えがありますが、撮影からプリントまで基礎技術がしっかりと備わっている」とは共通点と言えます」

— これまでの応募作品の中で、「これはおもしろい!」と印象に残った被写体を教えてください。

— これまでの審査の中で、「ここがよければ入賞したのに」「こうすればっといい賞をとれたのに」という惜しい作品はありましたか?  
「プリントのクオリティが低いことで、作品の持つよさを損なてしまっていると感じことがあります。撮影から仕上げまで丁寧に取り組んだ作品には、「見応えがありますが、撮影からプリントまで基礎技術がしっかりと備わっている」とは共通点と言えます」

TopEye

# アートコンテスト 年度賞

2024年度

2024年度の年度賞において、各部門の最優秀賞に輝いた2校を審査員の先生方が訪問。



## 和歌山県立神島高等学校



### ► ニコンからのメッセージ

神島高校さんは、組写真の応募がとにかく多いことに圧倒されました！ 部員同士で刺激し合っているのが感じられます。これからも切磋琢磨しながら頑張ってください！

### ► 顧問の先生からの喜びの声

プロの写真家にお会いできる機会は滅多にないので、生徒たちにとって貴重な時間となりました。熊切先生は飛行機の時刻ぎりぎりまで講演をしてくださり、生徒たちは感激した様子でした。的確なアドバイスをいただき、今後の活動へのいい経験になったようです。今年度も生徒たちは早速新しい作品作りに精を出始めました！

# 表彰式レポート

賞状や景品の贈呈、講評会などを行いました。改めて、受賞した生徒の皆さんおめでとうございます！



## 宮城県白石工業高等学校



### ► ニコンからのメッセージ

学校訪問では大きな部室や表彰楯・表彰旗の飾られた写真部専用の棚など、部の活躍ぶりを拝見させていただきました。新1年生のTopEye賞受賞はお見事でした！

### ► 顧問の先生からの喜びの声

この一年間は初めこそ順調でしたが、3回目で逆転され、4回目で再逆転する波乱の展開。ハラハラとドキドキも相まって、生徒たちの喜びもひとしおだったと思います。また、本校だけの講演会をしていただき、引っ込み思案な生徒たちもさまざまな視点から質問をすることができました。生徒全員で受賞の喜びを分かち合える素敵な機会と、贅沢な時間をありがとうございました！

# 応募前の check list

[チェックリスト]

今年度から気持ち新たに応募してくれる生徒の皆さんに向けて、見落としがちなコンテストのルールをお知らせ。応募要項とこのページをしっかり読み込んで応募してください！

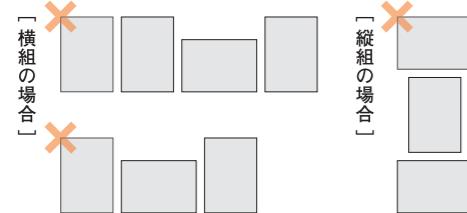
CHECK 01

## 応募するときの主な注意点！

### 用紙サイズをしっかり確認しよう！

六つ切、A4、四つ切が既定サイズです。

### 組写真は4枚まで。並べ方も揃えて！



組写真是1列に配置。  
縦組と横組どちらかに統一を。

### 組写真是並び順を必ず書いて！

応募用紙の該当欄に必ず順番を記入しよう。

### 組写真を並べるときは左から！

組写真是表面から見て  
左から順番になるようにテープでつないで送ろう。

### 作品の天地を書いておくと安心

わかりづらい作品は  
裏面に天地を明記しておこう。

### 応募用紙の記入漏れはない？

スピードライト使用の有無や  
露出データもきちんと書こう。

### 肖像権や著作権は大丈夫？

人物や誰かの著作物を撮影した作品は、  
応募の許可をきちんと取ろう！

### 二重応募や類似作品に注意！

他のコンテストとの二重応募や、  
他の作品と類似した作品は審査対象からはずれ、  
入賞決定後も入賞取り消しになってしまいます。

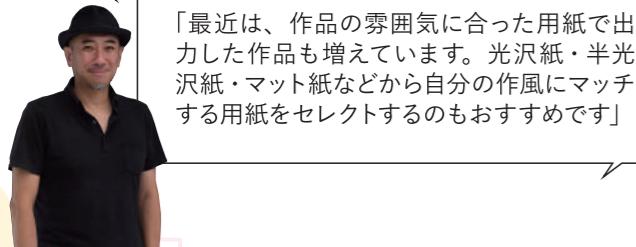
CHECK 02

## 審査員の先生からのアドバイス！

「写真の端までしっかり確認すること！ほんの少しの余計な書き込みなどがあれば、プリントの前にトリミングなどで対処するのがいいでしょう」

「出力した用紙の扱いは丁寧に！指紋がついていたり、用紙に折れ線がついてしまっていたりする作品があります。丁寧に扱われた作品は、丁寧に読み解く姿勢にさせられます」

「投げやりなタイトルやステートメントによって、よさが激減している作品が時々見られます。最後までこだわって考え抜きましょう」



CHECK 03

## 応募票を記入するときは、こんなところに注意！

POINT 01

※組写真是横一列（左側から）に並べテープ等で貼り合させてください。  
また、並び順と撮影データを明記した応募用紙を各写真の裏に貼ってください。

第 ■ 回 TopEye フォトコンテスト 応募票		POINT 02		POINT 03		POINT 04	
画題		チエック	□ 単写真部門	□ 組写真部門	枚目 / 枚中	性別	
フリガナ 氏名			男	女	選択しない		
学校名			学年	年			
学校住所	〒	TEL					
サークル名	□ 写真部	□ その他部・同好会 (団体名)	顧問氏名				
カメラ名	メーカー・機種名	フラッシュ					
レンズ	メーカー・焦点距離	有・無					
露出データ	オート・Pオート・Aオート(f/ )・Sオート(1/ 秒)・M(1/ 秒・f/ )	POINT 03					
	露出補正 (+ - EV) / ISO感度 ( )						
作品へのコメント（何をどこで撮影したのか、撮影時の印象など）							
□ 学校応募 顧問氏名				□ 個人応募 お名前			
メールアドレス				メールアドレス			

POINT 01

チェックボックスをしっかり記入！  
組写真是ここに枚数と並び順を書こう。

POINT 02

文字は崩さずに楷書で！  
読みやすさを意識しよう。

POINT 03

記入漏れが多い箇所。  
細かいデータもしっかりと！

POINT 04

作品の背景や込めた想いを  
審査員の先生にアピールできる場所。  
面倒がらずにしっかり書き込もう。

\* ★ 第1回の応募締め切りは  
★ ★ 5月9日(金)まで!  
★ ★

# 73rd NIKKOR PHOTO CONTEST

2025.4.1 [TUE] ~ 7.4 [FRI]

あなたの気に入りの1枚で  
価値ある体験を

## 第73回ニッコール フォトコンテスト

応募  
受付中

金賞  
第72回  
U-18部門(単写真)

U-18部門では  
同世代も活躍!



「砂男子(すなだんご)」中山鈴花さん

### 受賞のコトバ

真夏の沖縄の猛暑と日差しの強さに、体が溶けそうになりながら撮影しました。男の子が海から上がり、砂浜へ顔から飛び込んで、起き上がった直後の様子です。顔が砂だらけで、まさに「砂男子」だ!と思いつながらシャッターを切りました



### ニッコールフォトコンテストとは?

1953年から続く国内でも有数の規模と歴史を誇るニッコールフォトコンテストは、プロ・アマ問わず、機材メーカー問わず、どなたでもご参加できます。73回を迎える今回はWeb部門を新たに追加し、フォトコンテストに初めて挑戦する方からベテランの方々まで幅広くご応募いただくことができるフォトコンテストです。最大50万円の賞金に加え、入賞作品は12月発行予定の「第73回ニッコールフォトコンテスト作品集」に収録、また、ニコンプラザ東京・大阪THE GALLERY(ザ・ギャラリー)で開催される「第73回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展」にて展示されます。「ニッコールフォトコンテスト」は写真を楽しむ体験を後押しします。ぜひ、あなたのお気に入りの1枚や大切な写真を、お気軽にご応募ください。

コンテスト詳細は  
▼コチラから!



チャレンジを  
待っています!